

スマートシューズを起点とした転倒予防・健康寿命延伸サービスの研究開発

事業概要（フェーズ 2）

内容

スマートフットウェアを用いて取得した歩容データから転倒リスクを予測・管理し、専門家・AIからの指導を受けて高いQOLを維持するためのサービスを開発する。

背景・経緯

転倒に伴う医療費・介護給付費は年間9,000億円超であり、高齢者の転倒予防は国家の喫緊の課題である。

狙い、波及効果

ユーザーに安心安全な社会参加の方法や健康寿命を維持・延伸するためのトレーニングを提供することで、QOL向上や介護者の負担軽減を図る。

事業化

BtoC（高齢者）や BtoBtoC（介護事業者・保険事業者）のビジネスモデルを念頭におき、ハードの売り切りとソフトのサブスクリプションで収益化を狙う。



株式会社ORPHE

本社所在地	東京都渋谷区代々木5丁目7番5号
設立／資本金	2014年10月20日／5,000万円
従業員数	9名（令和5年4月現在）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・医療、ヘルスケア向け歩行分析DX事業 ・IoT製品(スマートフットウェア)の研究開発・販売

その他機関

機関名：国立大学法人大阪大学

・スマートフットウェアを使用した歩容解析のアルゴリズム開発に関してバイオメカニクス観点から歩容データの妥当性検証を担当する。

機関名：公立大学法人大阪（大阪公立大学）

・スマートフットウェアを使用した高齢者の転倒リスク評価に関して歩容データと既存転倒リスク指標との対応検証を担当する。